

資料 3

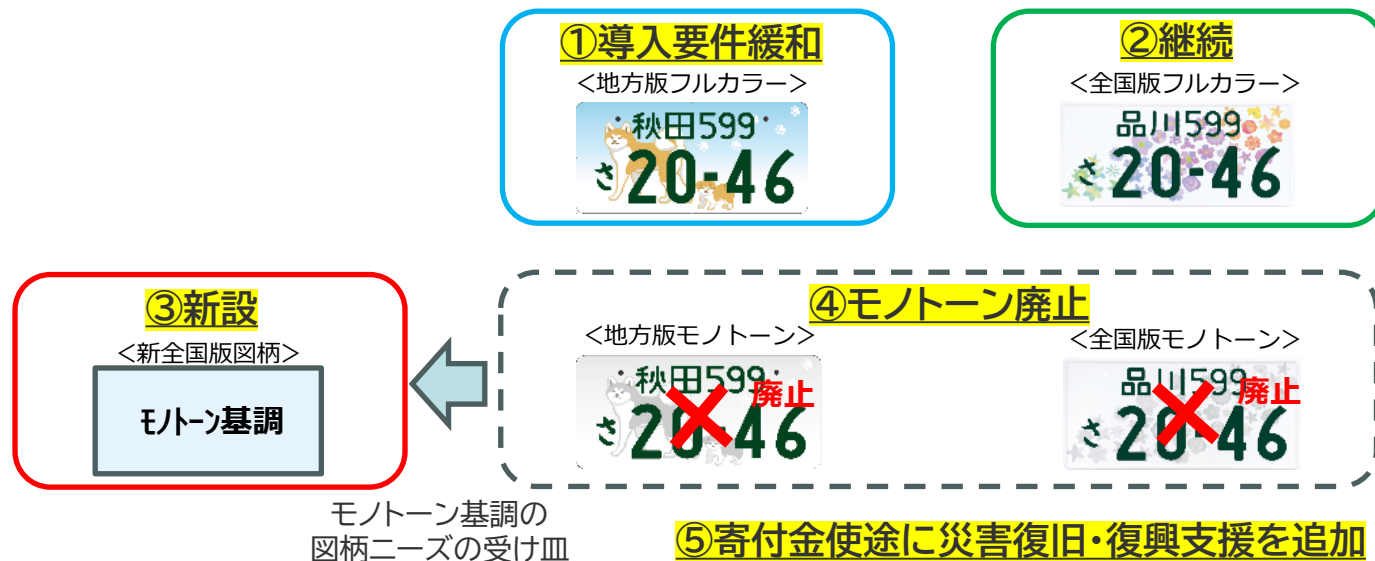
中間取りまとめ（案）概要

中間取りまとめ案

これまでの経緯

- 令和6年7月に「図柄入りナンバープレート等に関する検討会」を創設し、図柄ナンバープレート、ご当地ナンバー等に係る課題や今後の方向性について5回にわたり議論。
- 本日、第6回検討会后、中間取りまとめを予定。

中間取りまとめにおける決定事項



今後の検討課題

- 他地域の図柄の交付を可能とする「図柄ナンバープレート(ふるさと版)(仮称)」の創設に向け、供給者側の課題解決及び導入自治体の要件を検討。
- 希望ナンバーの抽選番号取得における寄付金制度の創設について検討。

検討の方向性

- ユーザーの選択肢の増加・維持(ユーザー目線)
- 制度の持続性の確保(供給者目線)
- 寄付金収入の増加(行政目線)



3つを両立する方向を
模索したい。

ユーザーの選択肢の増加・維持 寄付金収入の増加

- 単独市区町村の図柄ナンバー(地方版)
導入に伴うご当地ナンバー導入の要件緩和

登録車保有台数:10万台→7万台

又は

登録車+軽自動車保有台数:17万台→12万台



制度の持続性の確保

- 図柄ナンバー(地方版)のモノトーン
版(寄付無し)の廃止

(ご当地ナンバーを増やす中で、2種類
提供の維持は供給者負担が過大である
ため、負担を軽減する。)

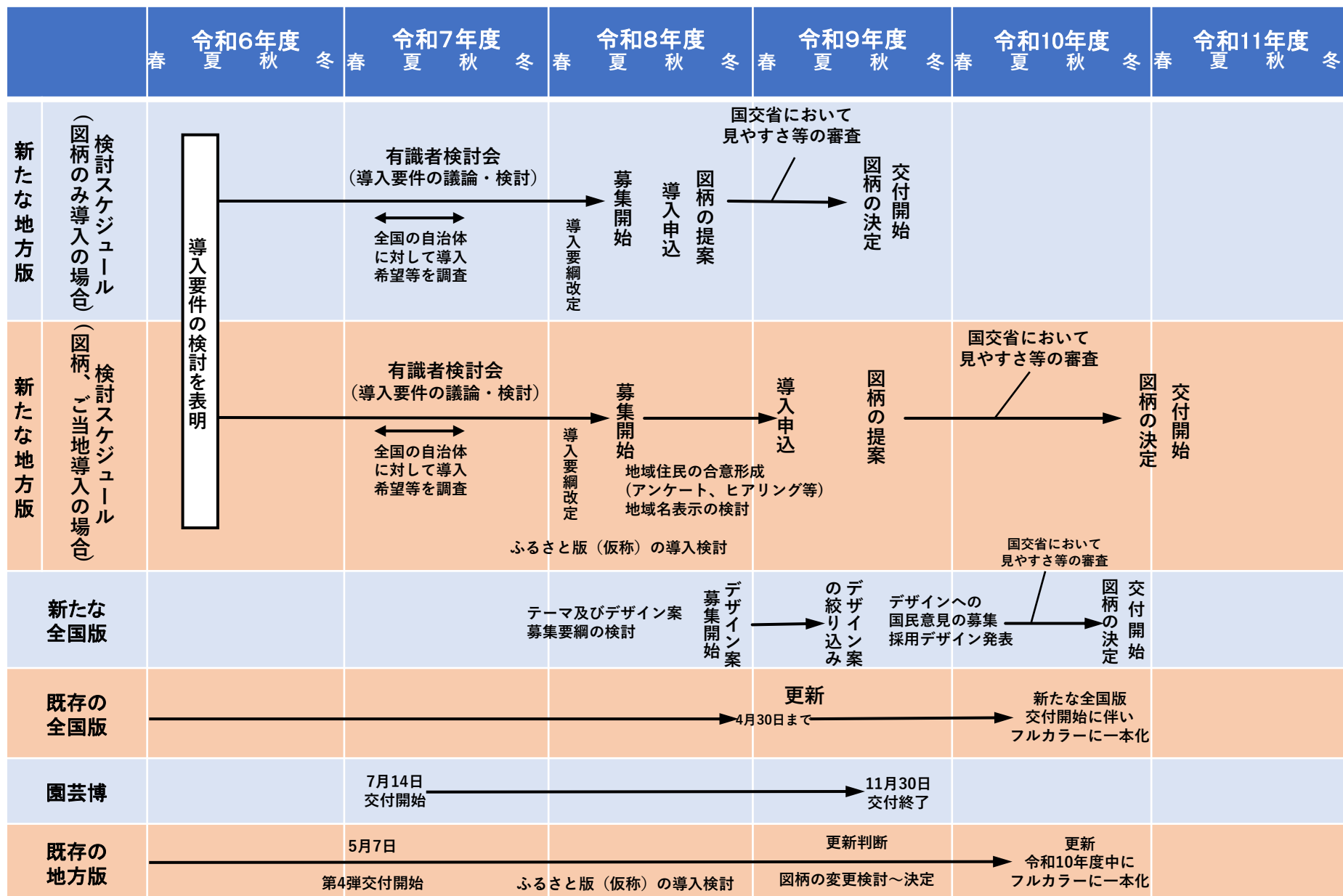
- 図柄ナンバー(全国版)モノトーン基調図柄
の追加

(派手過ぎず車のデザインにフィットするような、
モノトーンを前提にデザインされた図柄の選択
肢を増やす。)



- 図柄ナンバー(全国版)モノトーン版
(寄付無し)の廃止

図柄ナンバープレートの導入スケジュール(中間取りまとめ案)



本検討会設置の背景・目的

- 令和9年4月30日に交付期間が終了する予定の図柄ナンバープレート(全国版)のその後の方向性の検討
- 未導入地域から早期の導入を希望されている図柄ナンバープレート(地方版)及びご当地ナンバーの次回導入に向けた検討
- 今般、既に導入している図柄ナンバープレートの交付状況やユーザー及び自治体等のニーズを踏まえた、図柄ナンバープレート(全国版及び地方版)、ご当地ナンバーに係る課題や今後の方向性の検討

構成員

【委員】

(座長)石田 東生 筑波大学 名誉教授
石田 勝利 軽自動車検査協会 理事
岡安 雅幸 (一社)全国自動車標板協議会 専務理事
北嶋 緒里恵 (株)リクルート ジャらんりサーチセンター 客員研究員
竹岡 圭 日本自動車ジャーナリスト協会 副会長
寺井 剛敏 金沢美術工芸大学 副学長
吉田 樹 福島大学 経済経営学類 教授

【国土交通省】

鶴田 浩久 物流・自動車局長
久保田 秀暢 物流・自動車局次長
谷合 隆 物流・自動車局自動車情報課長
高井 誠治 物流・自動車局自動車情報課自動車登録
デジタル化推進室長

スケジュール

第1回 令和6年7月16日
第2回 令和6年9月30日
第3回 令和7年2月14日
第4回 令和7年3月28日
第5回 令和7年5月12日
第6回 令和7年6月17日 開催 中間取りまとめ

以降、令和7年7月～12月末にかけて3、4回開催
図柄ナンバープレート(地方版)導入要件の見直し、中間取りまとめを踏まえた具体的な施策の検討